

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センター めぶき園（放課後等デイサービス）				
		公表日 R7年 2月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか、	○			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか、	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか、	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、こどもの活動と合わせた空間になっているか、	○		普段、スタッフで清掃を行っており、看護師を中心に衛生面もチェックしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる場合になっているか、	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか、	○		毎回前の打合せ、降臨後の振り返りを必ず行い、日々の改善を図っています。	
	7	保護者に対する評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか、	○		意見を出してもらいたいやすいように無記名とし、ガイドラインアンケートに合わせて書いて顶く。	頂いた意見を見て気づかざることも多く、すぐに改めなければならないことがあります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか、	○		普段から職員間のコミュニケーションを大事にしており、トップダウンではなく現場からの意見も反映させております。	頂いた意見を見て気づかざることも多く、すぐに改めなければならないことがあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか、	○		今後、第三者による外部評価を導入していくたい。	はできないこともあります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか、	○		外部機関の実施する研修だけでなく、法人内研修、自事業所内で職員間研修など、状況に合わせて必要な研修が受けられるよう、法人と一緒に作っていきます。	取り組んでいる事が適切かの、改善すべきことなどを、今後は必要だと考えております。
	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか、	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや問題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか、	○		客観的見れるようアセスメントの方法を検討していきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけなく、こどもの支障に対する職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した判断を行っているか、	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか、	○			
	15	こどもの行動の動向の変化を把握できるツールを用いたフォーマルなアセスメント、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか、	○			
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの運営手引書」の「木立支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならびに実施内容も踏まえながら、こどもの支障に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が記述されているか、	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか、	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか、	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか、	○		集団活動が主であるが、特性に応じて個別対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか、	○			
関係機関や保護者との連携	21	支援終了時には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか、	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか、	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか、	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「5つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか、	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるため支援を行っているか、	○			
	26	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか、	○		児童発達支援管理責任者が代表して参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関・連携にて支援を行う体制を整えているか、	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブルが発生時の連絡）を適切に行っているか、	○			
	29	就学時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報が共有し理解に努めているか、	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか、	○		小学生までを対象としているので、障害福祉サービスへの移行はない。	
保護者への説明等	31	地域児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや市販の研修会を受ける会議を開いていているか、	○			
	32	放課後児童クラブや児童との交流や、地域の他のこども活動する機会があるか、	○			
	33	（自立支援）協議会へ積極的に参加しているか、	○		地域自立支援協議会があり活発ではなく、案内がない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか、	○		豊富に時に保護者と情報交換する機会を作っている。	
	35	保護者からお力の上位団体から、家族に対する家族支援プログラム（パレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報収集等を行っているか、	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか、	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を開いているか、	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか、	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか、	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者士と交換する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同志で交換する機会を設ける等の支援をしているか、	○		ニーズに対して十分とは思えず、また、どうい支援も含め今後の必要性を感じております。	
非常時等の対応	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか、	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動要ガイド事務連絡、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか、	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか、	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎遠や情報伝達のための配慮をしているか、	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか、	○			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練等を実施しているか、	○			
	47	業務最終処理（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか、	○		現在、法人本部と連絡したもの準備作成中です。	
	48	事前に、履歴や予防措置、てかんを作成のこどもの状況を確認しているか、	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか、	○		保護者を通じて把握しております。看護師が常駐しているので、医療面の対応も可能です。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか、	○			
51	こどもの全般健保に周知して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか、	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内外と共にし、再発防止に向けた方策について検討をしているか、	○			
	53	虐待を防ぐため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか、	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、細緻に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか、	○		身体拘束を行ったケースはありません。	